

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス福の木		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月25日		～ 令和8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 11人
○従業員評価実施期間	令和8年 3月25日		～ 令和8年 4月 15日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「スタッフの方の対応に満足しており、安心感がある。」というお声を頂いている。	安心できる環境を提供し、児童様の様子を連絡帳でお伝えする他送迎時での対面のお話、お電話での報告を密にしている。	情報共有できるツールの模索。
2	ご利用児童が、利用を楽しみにしてくださっている。	事業内の活動の他 事業所外での活動を多く取り入れている。	支援プログラムに基づき、各児童の興味のある課題、強みを生かせる課題を提供していく。
3	「個別支援計画の内容が的確である。」という評価を頂いている。	対面での面談時にお聞きするお家での様子や保護者様の評価及び事業所での様子や事業所の評価に基づき、保護者様のご希望とする支援を 優先順位の高い位置で計画している。原案立案後、児童様にも原案の評価をいただいたうえで最終決定している。	面談時においてもご利用者本人の参加が 望ましいと感じている。ご本人の面談への参加は 難しい課題ではあると思うが、実現できればと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係教育機関(支援学校及び地域の学校)との密な情報共有。	学校送迎時 その日の様子などは伺うことが出来るが、個別支援に掲げている内容の支援方法など 具体的な部分のお話をうかがえる機会がない。	以前、関連教育機関にお話を伺いたい旨を 申し入れたが「市の教育委員会を通して、教育委員会が認めた事案であるなら、時間を設定しましょう」とのお返事だった。話し合いを持つまでの過程が困難な事からあきらめてしまったが、他の方法はないか模索していこうと思う。
2	全職員参加の 会議及び研修	職員の雇用形態が異なるため、職員全員が一同に集まれることに困難がある。	今後も職員が一同に会議及び研修への参加は困難だと思うので、通常業務・緊急時等内容に応じて メールやチャット電話等を使い効果的な方法で対応していく。
3	バリアフリー化す課題。	賃貸物件であり容易にリフォームすることが難しい。	工事無しの簡易的な方法でのバリアフリー化は可能である。ご利用児童の特性から バリアフリー化が望ましい場合、スタッフが寄り添い支援させていただく。